

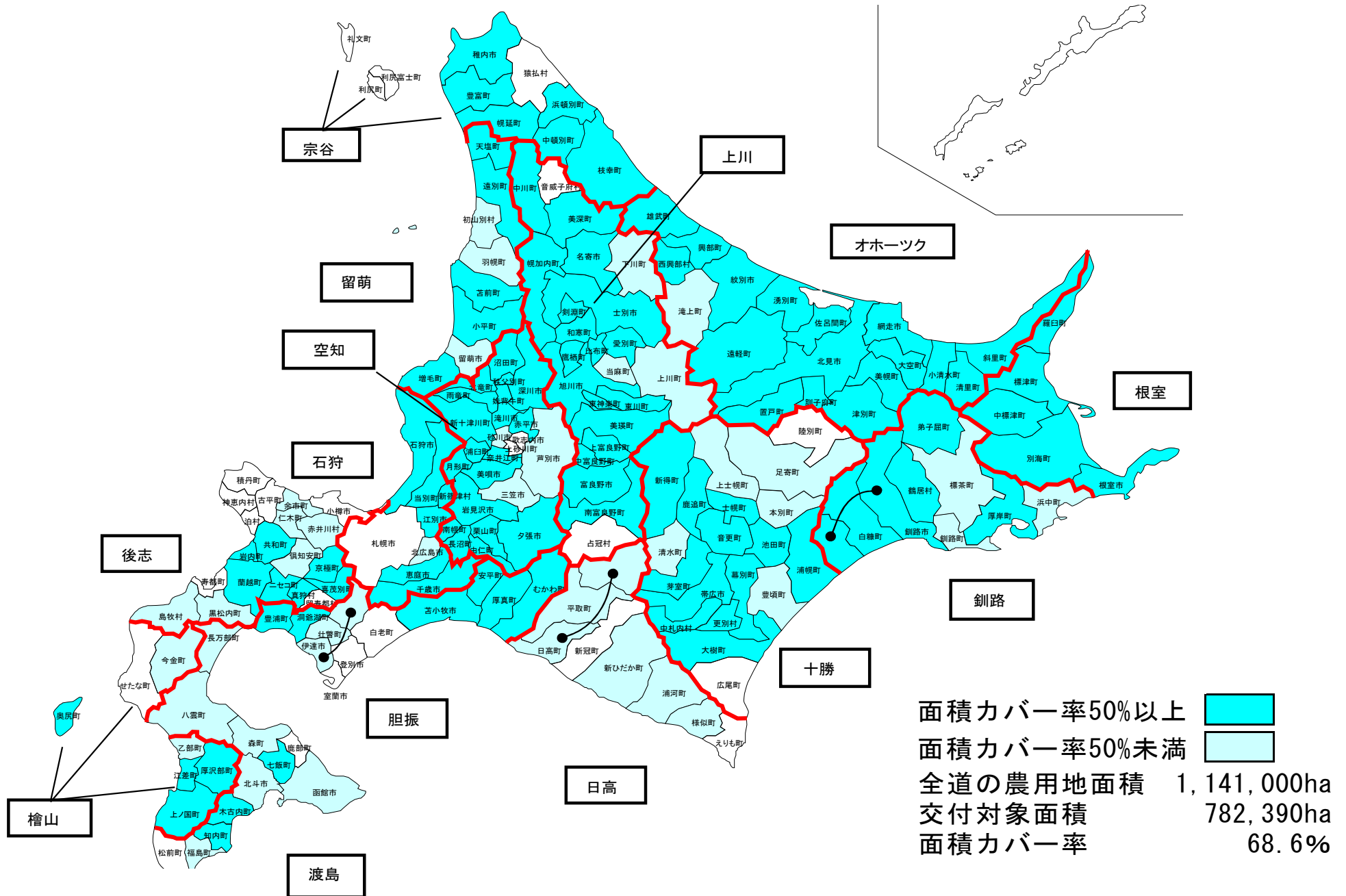
1. 令和4年度多面的機能支払交付金の実績について

1 取組市町村数及び活動組織数

- 取組市町村数は、新冠町で活動を終了したが、滝上町で新たに活動が開始され、153市町村となった。
- 活動組織数は、オホーツク及び十勝地域で4組織が新たに活動を開始、日高及び十勝地域で3組織が活動終了。また、空知、上川及び十勝地域で広域化されたため、組織数は714組織となった。

地域	令和3年度実績 (A)					令和4年度実績 (B)					増減 (B-A)				
	市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	新規	完了	合併
				共同	長寿命化				共同	長寿命化					
空知	22	129	129	126	2	22	117	117	114	3		△ 12			△ 12
石狩	7	42	42	42		7	42	42	42						
後志	13	56	56	55	1	13	56	56	56	1					
胆振	8	33	33	31		8	33	33	31						
日高	6	12	12	9		5	10	10	7		△ 1	△ 2		△ 2	
渡島	9	39	39	36	1	9	39	39	36	1					
檜山	6	33	33	24	1	6	33	33	26						
上川	21	124	124	120	4	21	109	109	105	2		△ 15			△ 15
留萌	8	40	40	36		8	40	40	36						
宗谷	6	7	7	3		6	7	7	3						
オホーツク	17	41	41	40		18	42	42	41		1	1	1		
十勝	17	169	169	167		17	170	170	168		1	3	△ 1		△ 1
釧路	8	8	8	6		8	8	8	6						
根室	5	8	8	7		5	8	8	7						
計	153	741	741	702	9	153	714	714	678	7		△ 27	4	△ 3	△ 28

2 市町村の実施状況



3 交付対象農用地面積

- 対象農用地面積は782,390haで、令和3年度から5,343haの増加となった。
- 地域別では、新規及び区域拡大により、オホーツク及び十勝地域等で増加した一方、区域見直しにより、日高及び宗谷地域等で減少となった。

地域	令和3年度実績 (A)				令和4年度実績 (B)				増減 (B-A)			
	交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)			
	田	畑	草地		田	畑	草地		田	畑	草地	
空知	96,816	84,789	11,578	449	96,910	84,855	11,606	449	94	66	28	
石狩	28,319	20,546	7,111	663	28,316	20,542	7,182	592	△ 3	△ 4	71	△ 71
後志	17,994	6,819	10,365	811	17,992	6,813	10,368	811	△ 2	△ 6	3	
胆振	21,084	8,201	9,972	2,911	21,080	8,195	9,972	2,913	△ 4	△ 6		2
日高	3,151	730	228	2,192	2,533	588	114	1,831	△ 618	△ 142	△ 114	△ 361
渡島	9,157	4,367	2,363	2,426	9,149	4,350	2,325	2,474	△ 8	△ 17	△ 38	48
檜山	4,250	3,470	450	330	4,133	3,508	451	173	△ 117	38	1	△ 157
上川	97,976	43,453	44,287	10,236	98,237	43,756	44,312	10,169	261	303	25	△ 67
留萌	19,045	4,830	2,120	12,095	19,203	4,957	2,105	12,141	158	127	△ 15	46
宗谷	45,965		150	45,815	45,822		127	45,695	△ 143		△ 23	△ 120
林-ツ	140,071	1,807	99,535	38,729	143,746	2,638	100,002	41,106	3,675	831	467	2,377
十勝	152,586	14	117,139	35,432	154,530	15	119,078	35,437	1,944	1	1,939	5
釧路	37,087		1,770	35,317	37,273		1,746	35,527	186		△ 24	210
根室	103,546		3,120	100,426	103,465		3,324	100,141	△ 81		204	△ 285
計	777,047	179,026	310,190	287,831	782,390	180,217	312,714	289,460	5,343	1,191	2,524	1,629

(ha未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。)

4 交付金額

- 交付金額は、11,882百万円となり、令和3年度から126百万円増額となった。
- 農地維持は、取組面積の増加から55百万円増額となった。
- 資源向上（共同）は、新たに75%単価の適用となる組織で減額となったが、取組面積が増加する組織もあり、26百万円の増額となった。
また、資源向上（長寿命化）は、新たに取り込む組織が1組織増、事業計画期間が終了したことにより1組織減、広域化により2組織が減となり、19百万円の減額となった。
- 加算措置は、「田んぼダム加算」の要望が37組織増となり52百万円の増額となった。

地域	令和3年度実績（A）					令和4年度実績（B）					増減（B-A）				
	交付金額（百万円）					交付金額（百万円）					交付金額（百万円）				
	農地維持	資源向上				農地維持	資源向上				農地維持	資源向上			
共同		加算	長寿命化	共同	加算		長寿命化	共同	加算	長寿命化					
空知	3,497	2,067	1,259	146	26	3,513	2,068	1,259	172	14	16	1		26	△ 12
石狩	866	545	322			866	545	321					△ 1		
後志	394	262	129	2	1	404	261	134	8	1	10	△ 1	5	6	
胆振	457	292	155	10		457	292	155	10						
日高	32	22	11			25	17	7			△ 7	△ 5	△ 4		
渡島	200	123	73	3		196	122	70	3	1	△ 4	△ 1	△ 3		1
檜山	145	85	57	2	2	143	85	55	2		△ 2		△ 2		△ 2
上川	2,292	1,456	768	60	8	2,323	1,463	769	88	4	31	7	1	28	△ 4
留萌	234	148	83	4		238	151	83	4		4	3			
宗谷	83	61	22			82	61	22			△ 1				
林-ツ	1,517	1,087	402	27		1,563	1,114	420	29		46	27	18	2	
十勝	1,693	1,218	451	24		1,724	1,237	461	26		31	19	10	2	
釧路	97	64	34			98	64	34	1		1			1	
根室	248	162	86			250	163	87			2	1	1		
計	11,756	7,589	3,851	278	38	11,882	7,644	3,877	342	19	126	55	26	64	△ 19

（百万円未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。）

※加算措置増減内訳

加算措置名	R3			R4			増減		
	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)
多面的機能増進加算	41	176	237	43	170	248	2	△ 6	11
農村協働力深化加算	5	37	28	5	37	28			
田んぼダム加算	4	17	13	15	54	65	11	37	52
広域化加算	4	4	1	7	7	1	3	3	
計	54	234	278	70	268	342	16	34	64

（百万円未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。）

5 資源向上支払の取組

資源向上支払の【地域資源の質的向上を図る共同活動】は、「施設の軽微な補修」のほか「農村環境保全活動」と「多面的機能の増進を図る活動」で構成されている。

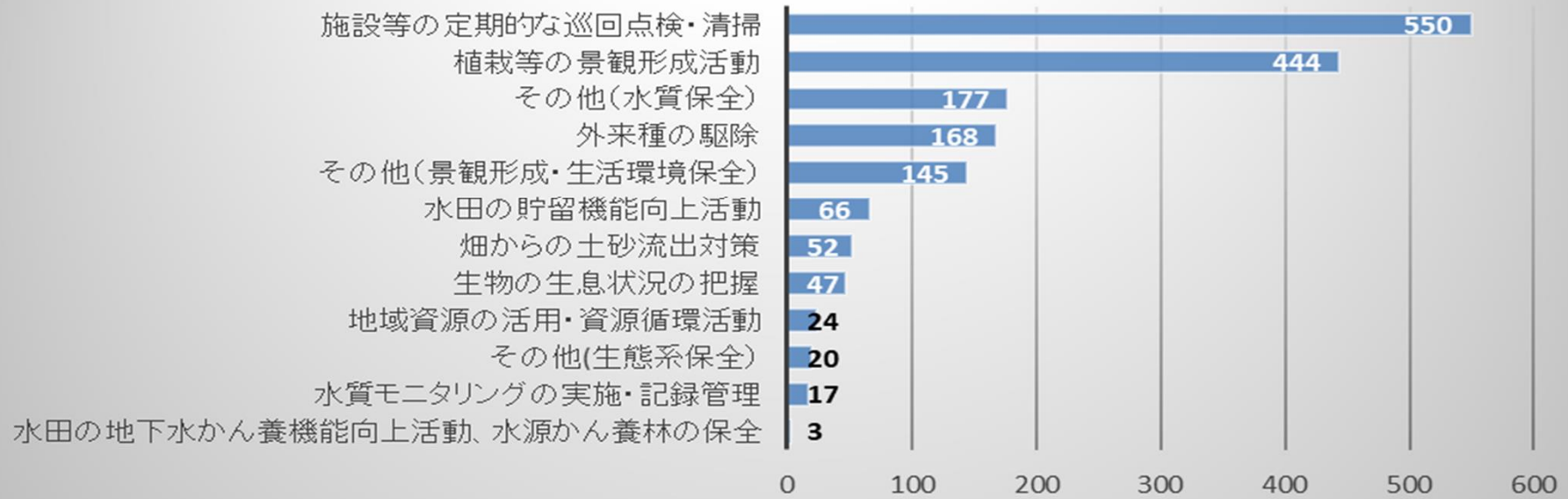
①令和4年度 農村環境保全活動の実施状況

- 要綱基本方針に定める5つのテーマの中から毎年度1つ以上選択して実施することとされている。
- 9割の活動組織が「景観形成・生活環境保全」のテーマに取り組んでおり、その中でも「施設等の定期的な巡回点検・清掃」及び「植栽等の景観形成活動」に6～8割の活動組織が取り組んでいる。

区分	農村環境保全活動												
	生態系保全			水質保全			景観形成・生活環境保全			水田貯留機能増進・地下水かん養		資源循環	
取組内容	生物の生息状況の把握	外来種の駆除	その他（生態系保全）	水質モニタリングの実施・記録管理	畑からの土砂流出対策	その他（水質保全）	植栽等の景観形成活動	点検・清掃	施設等の定期的な巡回	その他（景観形成・生活環境保全）	水田の貯留機能向上活動	能向の活動、水かん養	地域資源の活用・資源
取組組織数 a	196			234			649			68		24	
実施取組組織数 b	47	168	20	17	52	177	444	550	145	66	3	24	
全組織数c (資源向上支払)	678												
a/c	29%			35%			96%			10%		4%	
b/c	7%	25%	3%	3%	8%	26%	65%	81%	21%	10%	0%	4%	

農村環境保全活動の実施状況

(組織数)



施設等の定期的な巡回点検・清掃



植栽等の景観形成活動



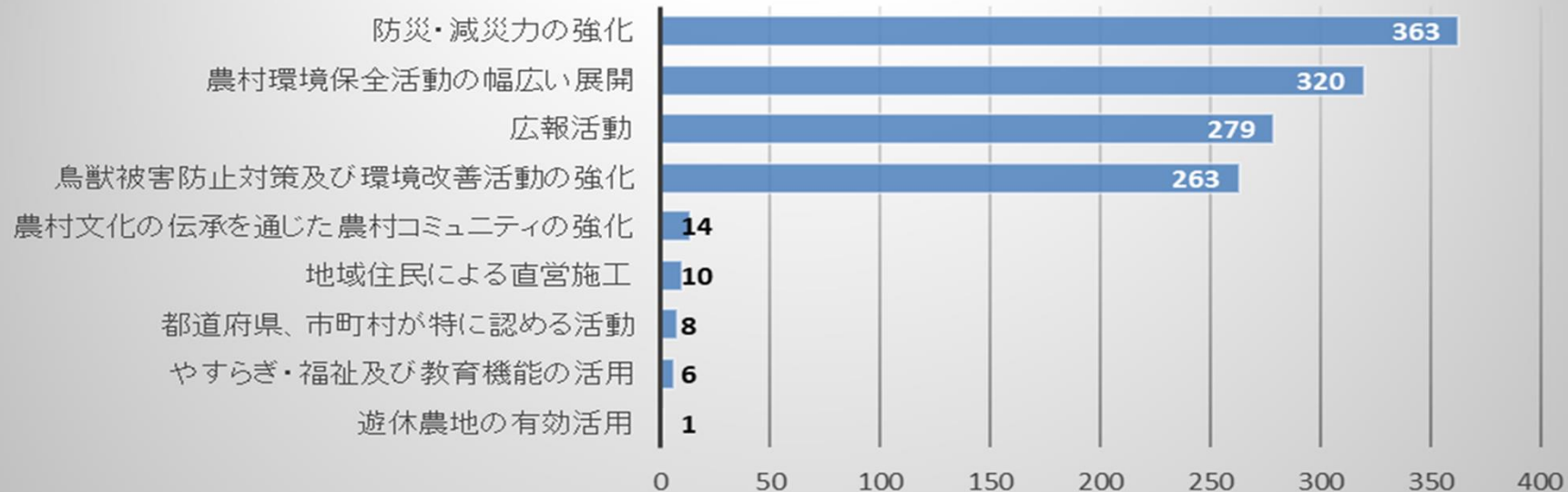
②令和4年度 多面的機能の増進を図る活動の実施状況

- 取組は任意とし、取り組まない場合の交付単価は、基本単価に5/6を乗じた額となる。
- 「防災・減災力の強化」、「農村環境保全活動の幅広い展開」、「広報活動」及び「鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化」の4つが活動項目の大半を占めており、4～5割の活動組織が取り組んでいる。

区分	多面的機能の増進を図る活動									
	遊休農地の有効活用	鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化	地域住民による直営施工	防災・減災力の強化	農村環境保全活動の幅広い展開	やすらぎ・福祉及び教育機能の活用	農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化	特に認める活動	都道府県、市町村が	広報活動
活動項目										
組織数 a	1	263	10	363	320	6	14	8	279	
全組織数 b (資源向上支払)	678									
a/b	0%	39%	1%	54%	47%	1%	2%	1%	41%	

多面的機能の増進を図る活動の実施状況

(組織数)



広報活動



鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化



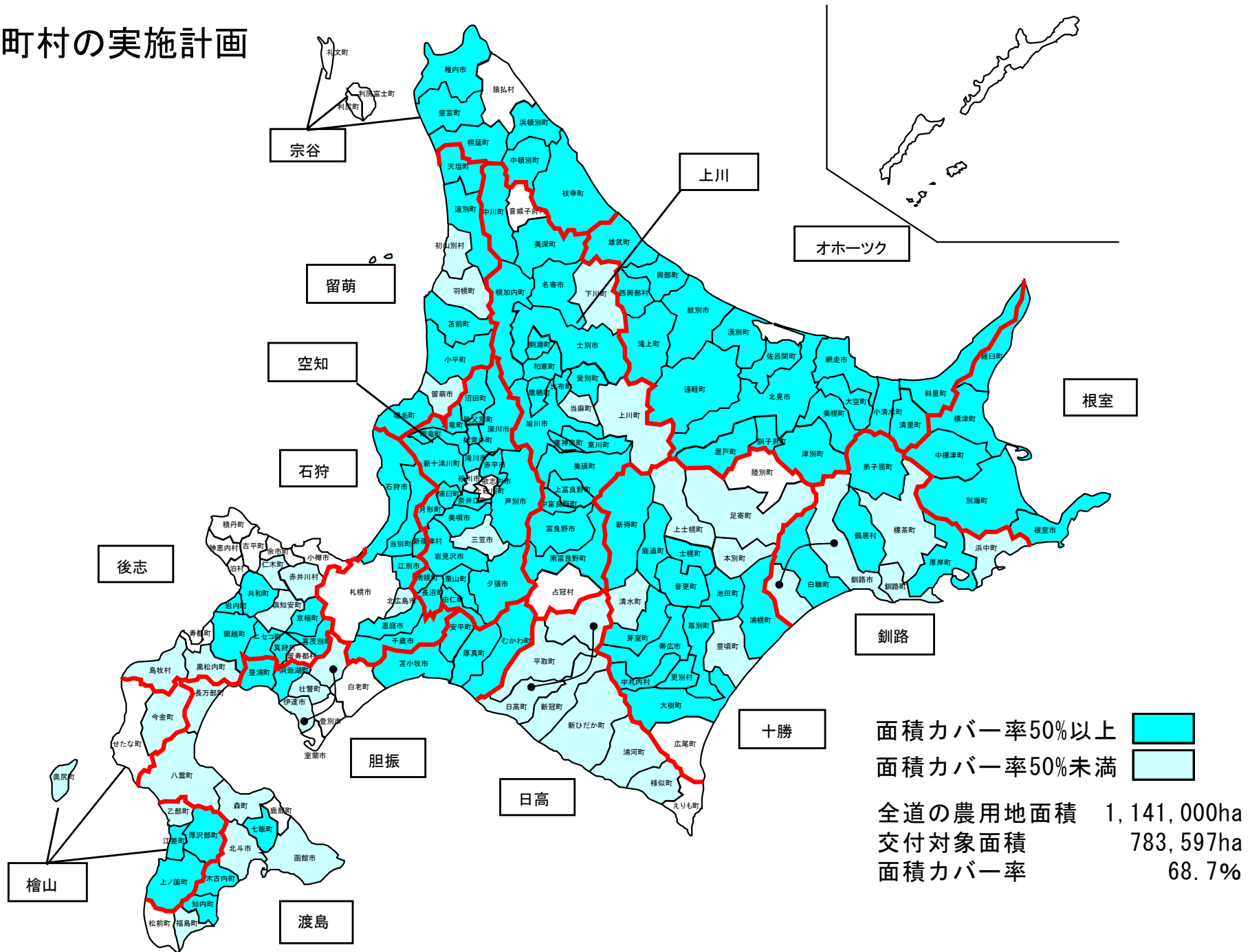
2. 令和5年度多面的機能支払交付金の実施計画について

1 取組市町村数及び活動組織数

- 取組市町村数に増減はなく、153市町村となる。
- 活動組織数は、日高地域で5組織が新たに活動を開始したため、令和5年度の組織数は719組織となる。

地域	令和4年度実績 (A)					令和5年度計画 (B)					増減 (B-A)				
	市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	農地維持	資源向上		市町村数	活動組織数	新規	完了	合併
				共同	長寿命化				共同	長寿命化					
空知	22	117	117	114	3	22	117	117	114	3					
石狩	7	42	42	42		7	42	42	42						
後志	13	56	56	56	1	13	56	56	56	2					
胆振	8	33	33	31		8	33	33	31						
日高	5	10	10	7		5	15	15	7		5	5			
渡島	9	39	39	36	1	9	39	39	36	1					
檜山	6	33	33	26		6	33	33	27						
上川	21	109	109	105	2	21	109	109	105	2					
留萌	8	40	40	36		8	40	40	36						
宗谷	6	7	7	3		6	7	7	3						
林-ツ	18	42	42	41		18	42	42	41						
十勝	17	170	170	168		17	170	170	168						
釧路	8	8	8	6		8	8	8	6						
根室	5	8	8	7		5	8	8	7						
計	153	714	714	678	7	153	719	719	679	8		5	5		

2 市町村の実施計画



3 交付対象農用地面積

- 対象農用地面積は783,597haで、令和4年度から1,207haの増加となる。
- 地域別では、新規及び区域拡大により、日高及び上川地域等で増加した一方、区域の見直しにより、オホーツク及び胆振地域等で減少となる。

地域	令和4年度実績 (A)				令和5年度計画 (B)				増減 (B - A)			
	交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)				交付対象農用地面積 (ha)			
		田	畑	草地		田	畑	草地		田	畑	草地
空知	96,910	84,855	11,606	449	97,049	84,968	11,627	454	139	113	21	5
石狩	28,316	20,542	7,182	592	28,472	20,544	7,336	592	156	2	154	
後志	17,992	6,813	10,368	811	17,993	6,813	10,369	811	1		1	
胆振	21,080	8,195	9,972	2,913	21,005	8,197	9,952	2,856	△ 75	2	△ 20	△ 57
日高	2,533	588	114	1,831	2,791	846	114	1,831	258	258		
渡島	9,149	4,350	2,325	2,474	9,147	4,363	2,320	2,464	△ 2	13	△ 5	△ 10
檜山	4,133	3,508	451	173	4,133	3,508	451	173				
上川	98,237	43,756	44,312	10,169	98,825	44,335	44,431	10,060	588	579	119	△ 109
留萌	19,203	4,957	2,105	12,141	19,216	4,969	2,106	12,141	13	12	1	
宗谷	45,822		127	45,695	45,856		127	45,729	34			34
林-ㇿ	143,746	2,638	100,002	41,106	143,630	2,638	99,999	40,994	△ 116		△ 3	△ 112
十勝	154,530	15	119,078	35,437	154,627	15	119,243	35,369	97		165	△ 68
釧路	37,273		1,746	35,527	37,386		1,792	35,594	113		46	67
根室	103,465		3,324	100,141	103,465		3,324	100,141				
計	782,390	180,217	312,714	289,460	783,597	181,197	313,190	289,210	1,207	980	476	△ 250

(ha未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。)

4 交付金額

- 交付金額は、11,958百万円となり、令和4年度から76百万円増額となる。
- 農地維持は、取組面積の増加から27百万円増額となる。
- 資源向上（共同）は、新たに75%単価の適用となる組織で減額となるが、取組面積が増加する組織もあり、8百万円の増額となる。
また、資源向上（長寿命化）は、新たに1組織で取り組み8百万円の増額となる。
- 加算措置は、「田んぼダム加算」の要望が3市町村、14組織増となり28百万円増額となる。

地域	令和4年度実績（A）					令和5年度計画（B）					増減（B-A）				
	交付金額（百万円）					交付金額（百万円）					交付金額（百万円）				
	農地維持	資源向上			長寿命化	農地維持	資源向上			長寿命化	農地維持	資源向上			長寿命化
共同		加算		共同			加算		共同			加算			
空知	3,513	2,068	1,259	172	14	3,530	2,071	1,261	176	22	17	3	2	4	8
石狩	866	545	321			869	547	322			3	2	1		
後志	404	261	134	8	1	405	261	134	9	1	1			1	
胆振	457	292	155	10		457	292	155	10						
日高	25	17	7			30	23	7			5	6			
渡島	196	122	70	3	1	195	122	69	4	1	△ 1		△ 1	1	
檜山	143	85	55	2		141	85	51	5		△ 2		△ 4	3	
上川	2,323	1,463	769	88	4	2,372	1,477	779	113	3	49	14	10	25	△ 1
留萌	238	151	83	4		238	151	83	4						
宗谷	82	61	22			82	61	22							
林-ㇿ	1,563	1,114	420	29		1,563	1,114	420	29						
十勝	1,724	1,237	461	26		1,727	1,239	462	26		3	2	1		
釧路	98	64	34	1		99	64	34	1		1				
根室	250	163	87			250	163	87							
計	11,882	7,644	3,877	342	19	11,958	7,671	3,885	376	27	76	27	8	34	8

（百万円未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。）

※加算措置増減内訳

加算措置名	R 4			R 5			増減		
	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)	市町村数	活動組織数	交付金額(百万円)
多面的機能増進加算	43	170	248	44	178	254	1	8	6
農村協働力深化加算	5	37	28	6	37	29	1		1
田んぼダム加算	15	54	65	18	68	93	3	14	28
広域化加算	7	7	1	7	7	1			
計	70	268	342	75	290	377	5	22	34

（百万円未満四捨五入のため、合計と合致しない場合がある。）

5 令和5年度普及・推進活動実施計画

①普及活動

- コロナの収束が見られることから、未取組市町村や活動の広がりが見られない地域に入り、制度の概要等について説明を行い普及を図る。

普及活動の進め方

～課題については、要綱基本方針及び北海道施策評価報告書より～

課 題

- 1 本道の農村地域では、担い手の減少や高齢化が急速に進み、集落機能や農業・農村の多面的機能の低下が懸念される状況
- 2 農業・農村は、食料の供給機能とともに、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、美しい景観の形成、文化の伝承など多面的機能を有しており、その利益を将来にわたって広く国民が享受できるよう、農業農村の有する多面的機能の発揮に向けた取組の推進が必要
- 3 農村環境や地域住民の活動への関心向上の促進が必要

取 組

- 1 地域における共同活動を支援する地域を拡大する
→ (1) の取組
- 2 未取組地域における課題を聞き取り、本交付金を活用した支援策などを提案する
→ (1) の取組
- 3 一般の方に広く本交付金制度をPRし、関心を持って頂く
→ (2) の取組

(1) 個別説明会

令和6年度以降に新規取組予定地区のある市町村等からの要請に基づき、本交付金で実施が可能な取組の内容や注意点について説明会を開催。

また、すでに取組を行っている組織に対しても地域拡大に向けた説明を行っていく。

- 開催期間 令和5年4月～令和6年3月 ※実施済（4月：帯広市、6月：広尾町）
- 参集範囲 市町村、土地改良区、JA、農業者

(2) 日本型直接支払パネル展

農村振興パネル展に出展し、多面的機能支払制度をPR。

- 開催日 令和5年7月7日～10日
- 会場 道庁本庁舎1階 道民ホール
- 内容 ・PRパネルやDVDの上映による取組事例の紹介
・パンフレット等の配布
- 対象者 一般の方

②推進活動

- コロナの収束が見られることから、令和5年度は、普及活動と併せて積極的に地域へ入って各種説明会等を開催し、推進を図っていく。
- 令和5年度に活動の終了を迎える組織が455組織あることから、継続に向けた支援を行っていく。

推進活動の進め方

～課題については、北海道施策評価報告書より～

課 題

- 1 地域共同活動による農地・農業用水等の保全管理体制の脆弱化
- 2 リーダーの不在や後継者の不足
- 3 地域特有の課題を解決できるような支援策などを提案できる体制の構築
- 4 本交付金に係る市町村や活動組織における事務作業の負担の増大
- 5 広域で取り組むことにより大きな効果を発現する環境保全活動などを推進する体制の構築
- 6 農村環境や地域住民の活動への関心向上の促進

取 組

- 1 農業者以外の多様な主体の参画や、活動組織の保全管理体制を強化するための広域化を進め、将来にわたり地域資源が持続的に保全管理されることが可能となるような体制づくりの推進
→ (1)、(2)、(3)、(4)の取組
- 2 リーダーの育成・確保による保全管理体制の強化とともに、農村活性化のきっかけづくりの推進
→ (2)、(3)、(4)の取組
- 3 本対策で構築した体制や、育成したリーダーを活用し、社会情勢を踏まえた次世代の農業・農村の構築に向け、北海道独自の取組を推進
→ (2)、(3)、(4)の取組
- 4 活動組織や市町村における事務処理負担を軽減するため、全道一律の事務支援システムの充実とシステムの導入推進
→ (1)、(2)、(3)、(4)、(5)の取組
- 5 道内の特性や課題に応じ、活動組織が協力して広域で取り組むことにより大きな効果を発現する環境保全活動などの推進
→ (2)、(3)、(4)、(6)の取組
- 6 農業・農村の有する多面的機能の理解促進を推進するため、活動組織、市町村、北海道及び道協議会が一体となりながら、それぞれの立場での普及・啓発
→ (2)、(3)、(4)、(6)の取組

(1) 事務経理指導説明会

総会の実施状況や会計経理証拠書類の整理状況等、本交付金の執行状況を確認するとともに、必要な指導・助言を活動組織等に行うため開催。

- 開催期間 令和5年4月～令和6年3月
- 開催箇所 会計検査や農水省の抽出検査などを踏まえ、関係市町村を対象に開催
- 参集範囲 活動組織の役員等、市町村の担当職員、土地改良区、JA 等

(2) 現地意見交換会

令和4年度に新たに取組を開始した市町村や、開催を希望する市町村及び活動組織等を対象として、活動組織から課題や疑問点を聞き取り、指導・助言を行うための意見交換会を開催。

また、令和5年度に活動の終了を迎える455組織の継続へ向けた支援を行う。

- 開催期間 令和5年4月～令和6年3月 ※実施済（5月：斜里町、6月：美唄市、千歳市）
- 参集範囲 活動組織の役員、市町村、土地改良区、JA 等

(3) 「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会

多面的機能支払事業における効果的な活動事例などの情報収集を行い、各地域の状況に応じた更なる活動の充実・発展を図るために、事例内容について検討を行い、発信等を行う。

- 事例研究会の開催 (2回)
- 先進地視察研修の実施 (1回)
- 草地分科会の開催 (1回)

(4) 「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会

地域の共同活動による地域資源や農村環境の保全管理に取り組む活動組織に対して、地域の特性を生かした効果の高い活動事例の普及・推進を図ることを目的とした全道事例発表会を開催。

- 開催時期 令和6年2月
- 開催箇所 札幌市内
- 参集範囲 活動組織の役員等、土地改良区、JA、市町村の担当職員

(5) 事務経理担当者等会議

道内における不適切な事案の再発防止、多面的機能支払交付金の手引き、実施状況確認報告書等やR5実施期間が終了する活動組織における留意事項、共同活動における安全管理の徹底など、市町村等の担当者に説明を行うため会議を開催。

- 開催期間 令和5年7月～8月
- 開催箇所 振興局別で開催（全道15か所(空知は2か所)）
- 参集範囲 市町村の担当者、活動組織の監事を含む役員、事務局（事務経理を受託している土地改良区、JA等）の担当者

(6) 女性参画推進の取組

農家戸数の減少や高齢化が進行する中で活動を継続するためには、農業者だけでなく多様な人材の参画の推進が必要であるが、特に女性の参画を推進するための取組を行う。

- 開催時期
 - 開催場所
 - 内容
- } 開催時期等について今後検討
- 女性の役員等との意見交換及びインタビューを実施し、女性を取り組みやすい活動などの事例収集

③他団体主催の研修会等への参加

- 本交付金の普及・啓発に関連する研修会やイベントへ参加し、活動組織への啓発や一般の方へのPR活動を行う。

(1) アライグマ捕獲技術研修会

各(総合)振興局環境生活課が主催する「アライグマ捕獲技術等研修会」へ、多面的機能支払交付金を活用したアライグマ対策等について情報提供を行うため参加。なお、市町村を通じて各活動組織に本研修会の開催を案内。

- 開催期間
 - 開催場所
 - 参集範囲
- } 開催時期等については未定
市町村、活動組織

(2) 「農業農村ふれあいフェスタin赤れんが」

NPO法人 農・と・ぴあ主催において、道協議会のブースを設置して、来場者へ多面的機能支払制度をPR。

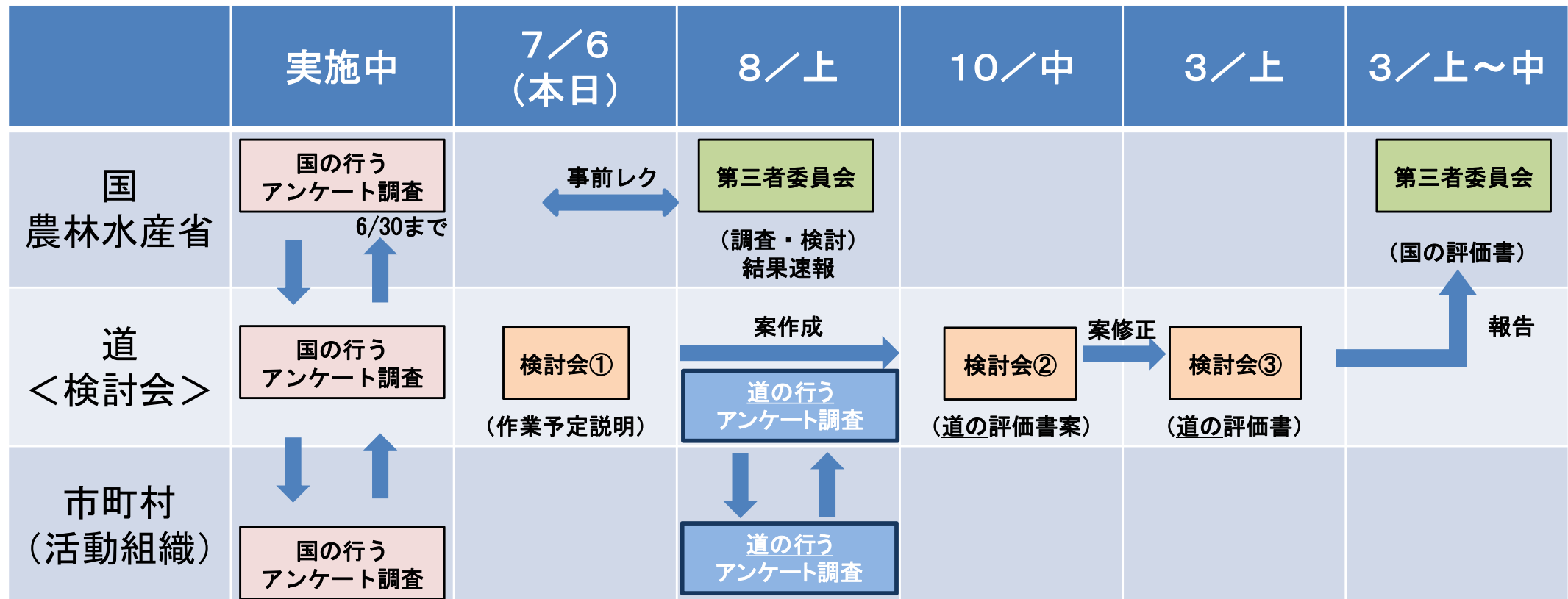
- 開催日 令和5年9月30日(土)
- 会場 道庁赤れんが庁舎前
- 内容 ・パネルによる本交付金の概要と取組事例の紹介
・パンフレット等の配布
- 対象者 一般の方

3. 施策評価について

1 趣旨

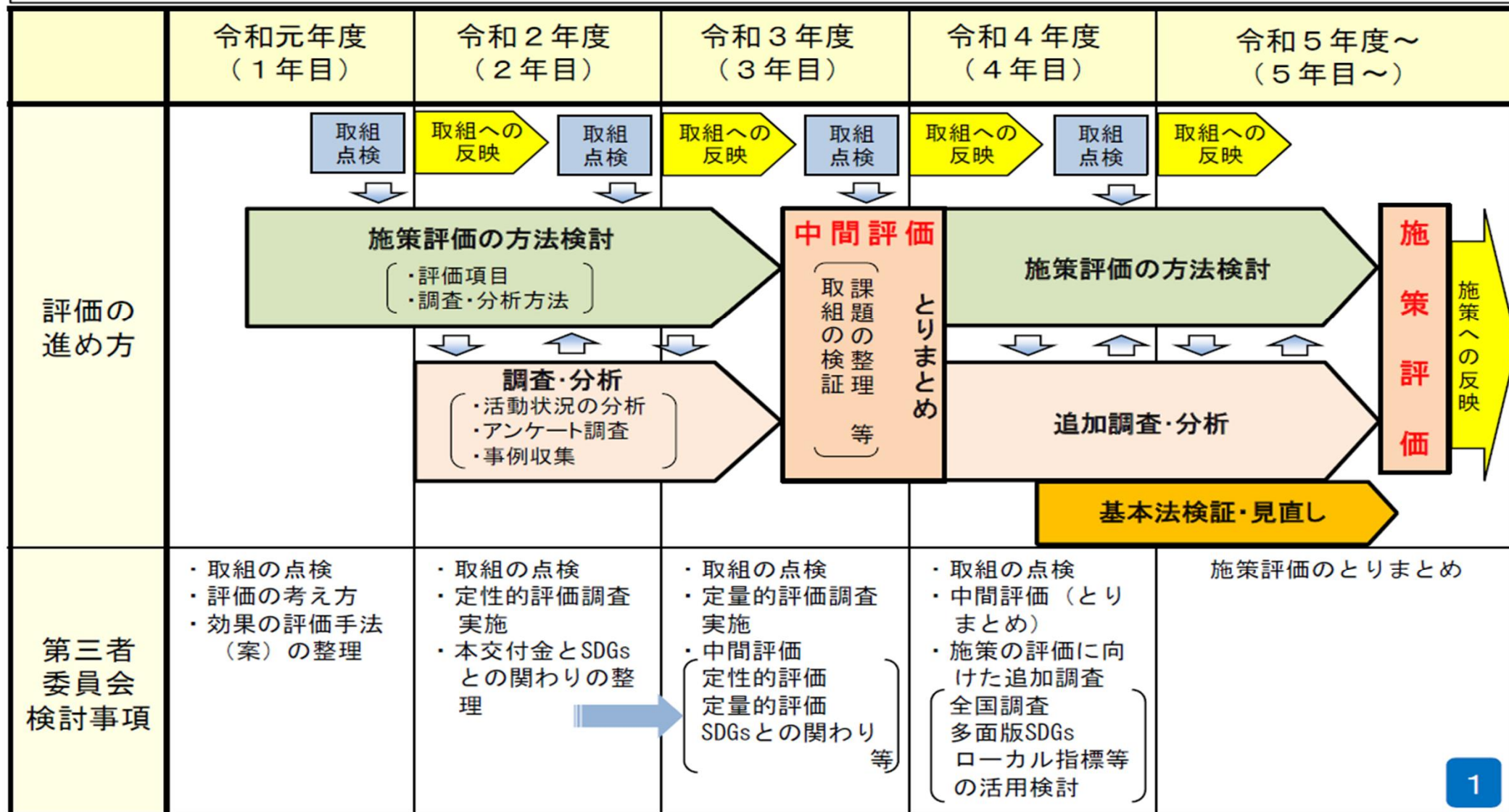
- 国は、多面的機能支払交付金の交付が計画的かつ効果的に実施されるよう、取組状況の点検や制度の効果等の検証を行い、施策に反映。
- 多面的機能支払交付金の活動による地域資源の保安全管理や農村環境の保全・向上等の効果の発揮状況等を評価するため、中間評価にて整理された課題について分析し、第三者委員会の助言を受け、本対策の効果等を整理し、施策に反映。

2 スケジュール



1 施策の評価の進め方

- 多面的機能支払交付金の交付が計画的かつ効果的に実施されるよう、取組状況の点検や制度の効果等の検証を行い、施策に反映。
- 第三者委員会における検討を踏まえ、3年目(令和3年度)に中間評価、5年目(令和5年度)以降に施策評価を開始。



2 施策の評価に向けた検討方向

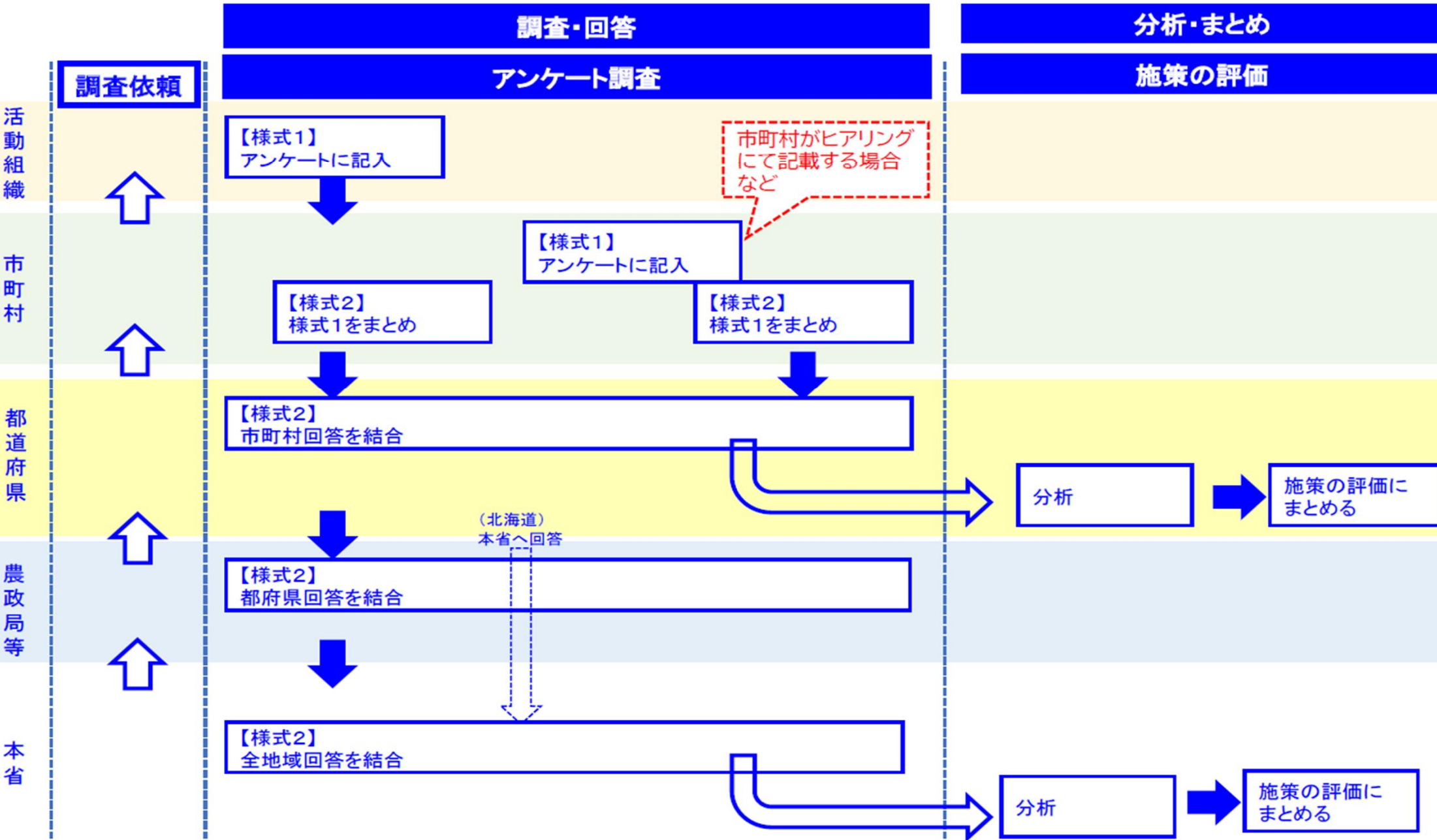
- 中間評価(R4.10)での「今後の展開」について、施策の具体化を検討。
- 他方、基本法検証・見直しにおいて、人口減少下での本交付金の将来的な持続可能性についても論点のひとつとされているところ。
- また、みどりの食料システム戦略推進、気候変動対策など今日的な課題に対応する方策を検討する必要。

中間評価(R4.10) 「今後の展開」での記載	検討の方向(案)
①SDGsや地域貢献に関心の高い企業、大学等を本交付金の共同活動組織に呼び込むことによる農的関係人口の創出・拡大や関係深化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動組織の広域化 ・ 事務の外部委託（土地改良区、JA等団体との連携） ・ 若者、女性等多様な主体の参画 ・ 地域外からの人の呼び込み ・ 教育機関との連携 ・ 生態系保全、環境保全型農業等の取組
②農地集積が進んでいる地域における活動組織の広域化と若手非農業者を取り込んだ保全管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「田んぼダム」等地域防災の取組 <p>等の政策課題への対応をより一層加速する観点から、各地域の取組やノウハウの蓄積を活用し、横展開を図るため、先進事例とその中心人物、専門的な知識等を有する者等のリスト化や派遣への支援を強化</p>
③さらなる事務負担軽減のための制度の簡素化等を検討することが重要	<p>活動組織の事業計画策定及び市町村における事務負担軽減の観点から、加算措置の整理</p>

(多面版SDGsローカル指標の活用)

等

施策の評価に向けたアンケート調査と施策の評価への反映の流れ



4. 今後のスケジュールについて

- 第2回検討会の現地調査については、実施を含め検討中。
- 令和5年度は施策評価を実施予定。

1. 令和5年度検討会開催予定

第1回検討会

- (1)開催時期
令和5年7月6日(木)
- (2)主な議題
 - ・令和4年度実績
 - ・令和5年度実施計画
 - ・施策評価

第2回検討会

- (1)開催時期
令和5年10～11月頃
- (2)主な議題
 - ・現地調査(検討中)
 - ・施策評価

第3回検討会

- (1)開催時期
令和6年2～3月頃
- (2)主な議題
 - ・現地調査報告(検討中)
 - ・令和5年度実施状況
 - ・令和6年度実施計画
 - ・施策評価

2. スケジュール表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回検討会				本日 ↑ (施策評価作業予定報告)								
第2回検討会				↑			開催予定 ↑ (施策評価書<案>)					
第3回検討会				↑			↑			開催予定		
施策評価	← 国評価依頼 →											↑ (施策評価書<最終案>) ※国へ報告

道内における不適切な事案の再発防止について

不適切な事案の概要

- 道内で実施中の多面的機能支払交付金において、活動組織の会計処理を受託している土地改良区の会計事務で、使途不明金が生じているとの報告があり、市町村、道、協議会等が調査した結果、土地改良区の担当する職員により複数の組織において数年間にわたり、8千3百万円の使用不明金が生じていることが判明した。
- 今後、市町村は道を経由して国へ返還する手続きを行う。
- 土地改良区は、当該職員を横領の容疑で刑事告発を行った。

道の対応

①文書による指導の徹底

本事案を未然に防止するため、活動組織に対し指導の徹底を市町村に通知

「活動組織における不祥事の未然防止について（令和5年5月24日付け農設第106号通知）」

- ・ 会計役員は複数チェック体制など責任を持って出納事務の管理を行うこと
- ・ 監査役員は書類原本を用いて適切に監査を実施すること

②現地においての周知・指導の徹底

実態調査

多面実施中の全市町村と全組織を対象とした実態調査を実施

調査内容

- ・ 検査手法
- ・ 実施状況確認
- ・ 通帳等保管状況
- ・ 組織の監査手法
- ・ 事務委託の有無
- ・ 事務の手法

検証

再発防止

周知徹底

活動組織

- ・ 組織は事業実施主体であることの意識を持つ
- ・ 組織の役員は、責任を持って運営する
- ・ 組織の体制の強化（複数チェック等）

周知徹底

市町村

- ・ 組織への検査の手法を検討し実施する
- ・ 組織の監査状況を確認する
- ・ 組織への指導・助言を行う

道独自の検査

抽出検査

- ・ 道は協議会と連携して独自に現地に赴き、抽出検査を実施
- ・ 実施時期及び対象組織は未定